

ポスター発表の発表者と研究課題

① 12:45~12:55 ② 12:57~13:07 ③ 13:09~13:19

部屋	発表順	氏名	研究課題
207 講義室	①	有馬 大	学習に困難を抱える児童を支援し、授業理解を高める取り組みの提案 - 小学校理科において -
		別宗 智美	給食指導による食習慣・食生活の形成をはかる教育実践 - 共食のもつ効果の検証 -
		法邑 歩美	生徒が自ら学ぶ国語授業のデザイン - 「書く」能力の育成を通して -
	②	岩原 拓真	創発型学習共同体としてのCSCL環境の開発
		松下菜々子	「見方が変わると思考が変わる」を軸にした生徒の思考を促す外国語の授業デザイン
	③	佐野 一馬	生徒の自我関与を促す英語科の授業実践 - 英語の歌詞について生徒が自らの問いを生み出す学習デザイン -
弥久保里菜		1.5人称的アプローチによる教師と子どもの関わりに関する研究 - ケアの視点を通して -	
208 講義室	①	浅本 拓哉	「総合的な探究の時間」の持続的な活動改善が可能となる組織運営に関する研究
		吉村真由子	知的障害児と教師のコミュニケーションの変容 - インリアルアプローチを通して -
	②	北間小百合	総合的な学習の時間における適応的援助要請を促す教師の介入要件
		森田 綾子	知的障害のある高等部生徒への社会科教育の在り方 - 自分の思いや考えを表現できる主体の育成を目指して -
	③	杉田 智史	身の回りの現象を科学的概念を使って見つめ直す生徒を育てる理科授業 - 中学校3年理科「生命の連続性」単元を事例として -
		堀辺 神奈	知的障害特別支援学校における系統性のある性指導のあり方に関する実践的検討